

**『(仮称) 会津若松市自治基本条例』草案』についての市民との意見交換会
出された主な意見等 (第8回東山地区)**

□日 時：平成27年8月18日(火) 18:30~20:25

□会 場：東公民館

□参加市民：9名(地元区長他)

□市民会議側参加者(事務局含む)：7名

□意見交換(主な意見等)

- ・東山温泉は会津の奥座敷と言われているが、壊れた建物がそのままで景観が悪くなかったり、まち自体に活気が無いと感じている。どうしたら活気ある温泉街にしていけるのか地区をまたいで議論していくことが必要だが、風通しが良くない部分もある。
- ・本市は観光地なので、ゴミ置き場が無いといった事情があるにしても家の前にゴミを出したりすることを止めたり、背あぶり山へ続く県道脇の落ち葉を処分したり、倒れかけている看板を直したりといった対応が必要。
⇒条例草案に「美化」の視点が無いため、そうした視点を盛り込むかどうか、盛り込む場合どう盛り込むが検討したい。
- ・七日町のように、活性化を図る団体や人材がいない現状。
- ・市民からの要望がどういった優先順位で対応されているのか見えない。
⇒条例により見える化に努めるよう促すことができる側面もある。ただ何でも要望といったことではなく、どこまでのレベルの要望を議会・行政に届けるのか線引きが必要。
- ・現状では、年配の方々が地域課題の解決を主に担っている。一方で、今後そうした方々に今の若い世代が替わっていけるのか疑問。条例により今のうちからまちづくりへの意識付けを図っていかないといけないといった危機感がある。
- ・地区内で十分な意思疎通ができていない側面もある。また隣り近所の人間関係が希薄になったと感じている。子供の数が少なくなったことに起因してと思われる。
- ・東公民館では様々な団体の活動が活発で、地域の拠点になっている。全市的に公民館にこうした機能が求められる。
- ・自らの住む地区では自主防災組織を立ち上げた。これをベースに少ない世帯間だがこまめに声掛けしたり、自らの地区の課題にできるだけ自分達で対処できる環境を整えたい。
⇒条例草案中で都市内(地域内)分権について言及している。湊町では取組に着手したとのこと。進めるためには地域を引っ張る強いリーダーシップが必要だが、地区の課題解決につながる枠組みの構築により、東山を強固なコミュニティにできる。

以上